

授業科目	*初年次セミナー I					実務家教員担当科目	-				
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	木村 茂喜										
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探究していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーI および II で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナーI では、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用方法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p> <p>※第3回～第14回では、学生を5つのグループ（後期の初年次セミナーII と共通）に分け、1人の教員が4回ずつ、合計3名の教員が担当する。また、第3回～第6回、第7回～第10回、第11回～第14回の授業計画はあくまで例であり、テーマ・講義内容、授業の運営方法、学習課題は各担当教員によって異なる。詳細については、第2回で各担当教員から説明する。</p>										
授業形態	合同講義(第1回・第2回・第15回)		各担当教員による演習(第3回～第14回)		授業方法	PBL（課題解決型学習）、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができる。(DP1-1)</li> <li>・グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1)</li> <li>・他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べるすることができる。(DP3-1)</li> </ul>										
理想的レベル	<p>「標準的なレベル」に加えて、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のために、探究する姿勢を身につけることができる。(DP4-1)</li> <li>・自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1)</li> </ul>										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合(数値)				備考					
試験											
小テスト											
レポート		30%									
発表(口頭、プレゼンテーション)		30%									
レポート外の提出物		25%									
その他		15%				授業中の発言など、授業に積極的に参加する姿勢により評価する。					
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE10201J

学習課題（予習・復習）		1回の学習目安 （時間）
担当教員より適宜指示する。		1
授業計画		
第1回	テーマ：大学での学びとは（木村政伸） ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは	
第2回	テーマ：ガイダンス（福祉学科担当全教員・図書館職員） 初年次セミナーIの進め方について、各担当教員が説明し、図書館の紹介と文献・資料の扱い方について解説し、夏休み課題レポートについて説明する。	
第3回	テーマ：文章の構成について学ぶ（担当教員1） 文章の基本的な構成方法（三段構成や四段構成）について学習したうえで、文章を読み要約する。	
第4回	テーマ：多角的な視点からものごとを考える（担当教員1） ひとつのテーマについて、多くの考えやアイデアを生成するブレインストーミングに取り組む。	
第5回	テーマ：批判的に思考する（担当教員1） 自分の考えや意見に対し、反対の立場から批判を考え、自分の考えを吟味する。	
第6回	テーマ：レポートを書こう（担当教員1） レポートを書くうえでの文章上の注意点について解説する。これまで授業で作成した文章を見直し、注意点について理解する。	
第7回	テーマ：社会生活と法(1)法の存在意義について（担当教員2） 社会における法の役割について考える。	
第8回	テーマ：社会生活と法(2)法に関する文書を読む（担当教員2） 最近問題になっている、法に関する文章を読み、その要点を要約する。	
第9回	テーマ：社会生活と法(3)思考マップ・アウトライン作成（担当教員2） 前回要約したものについて、わからない語句や疑問に思った点について調べ、疑問を感じた点についての思考マップ・アウトラインを作成する。	
第10回	テーマ：社会生活と法(4)法に関する文章を書く（担当教員2） 思考マップ・アウトラインをもとに、レポートの構成を考える。	
第11回	テーマ：ブックレポートを書く(1)対象への関心を高める（担当教員3） ・対象のイメージアップを図る。 ・テキスト批評を学ぶ。	
第12回	テーマ：ブックレポートを書く(2)文献を利用する（担当教員3） 指定する学問領域の専門書を分析し、紹介する。	
第13回	テーマ：ブックレポートを書く(3)意見と根拠を述べる（担当教員3） レポートの各部分を振り返り、レポートを全体としてまとめる。	
第14回	テーマ：ブックレポートを書く(4)まとめる・評価する（担当教員3） ・自分のレポートを読む。 ・自分のレポートにコメントする。 ・振り返り	

第 15 回	<p>テーマ：初年次セミナーI のまとめ（福祉学科全担当教員）</p> <p>初年次セミナーI の内容について振り返るとともに、夏休み課題レポートについて説明する。</p>
テキスト	特に定めない。
参考図書・教材 /データベース・ 雑誌等の 紹介	テーマに即した文献・資料について、担当各教員より紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	担当教員によって多少異なるので、不明な点があれば、各担当教員に問い合わせること。
学生へのメッセージ・コメント	<p>授業で関心のあったテーマについては、積極的に図書館やインターネットを利用するなどして知識を深めることを勧める。</p> <p>演習・グループワーク等では各自の積極的な参加を期待している。</p> <p>初年次セミナーI での学習内容の到達度を確認するため、夏季休業期間中に各自レポートを執筆し、提出すること。レポートのテーマ、書式、提出期限など、詳細については、第 15 回で説明する。なお、このレポートは初年次セミナーII の成績評価に加える。</p>